

2017年度常磐短期大学卒業生 各位

常磐短期大学幼児教育保育学科
学科長 福田 洋子

卒業後評価アンケートご協力のお礼と結果報告

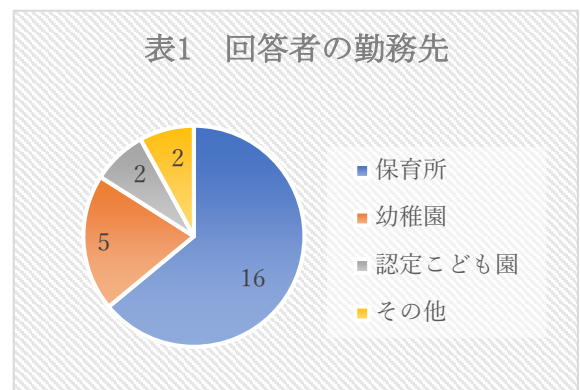
時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

過日お送りした卒業後のアンケートについて、ご協力いただいた皆さまには心より御礼申し上げます。この結果について、以下のように分析しましたので、ご報告申し上げます。何かご不明な点等ありましたら、担当の大内もしくは木村（代表：029-232-2511）までご連絡ください。

記

1. 回収率

卒業生 146 名に送付し、幼稚園 5 名、保育所 16 名、認定子ども園 2 名、その他 2 名の合計 25 名（17%）から回答を得た。なお、郵送での回答は 11 名、インターネットでの回答は 14 名であった。



2. 結果

全 23 項目の質問について、「1. 全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」の 4 件法で自己評価をお願いしました。わからない場合は「？」を選択できるようにしました。

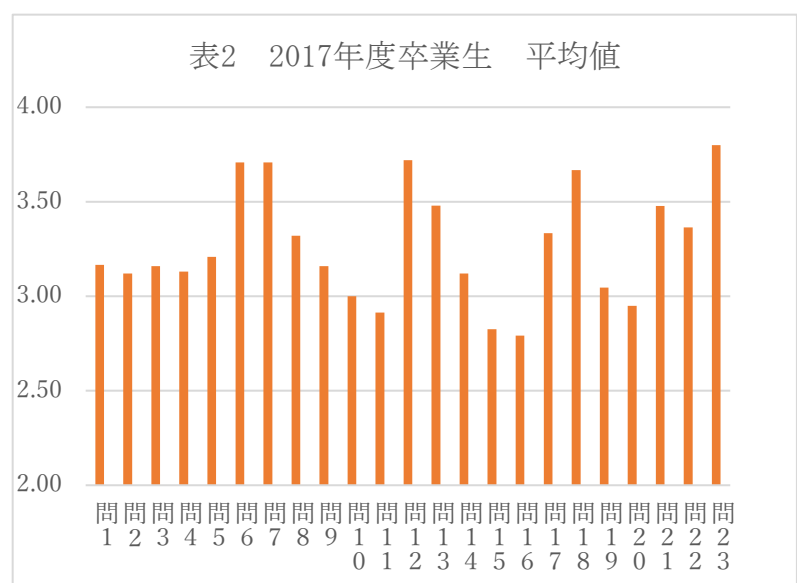
①常磐短期大学で学ぶことができよかったと思っている（問 23）、日常の挨拶ができて、礼儀正しい

（問 12）、乳幼児が話すことを、彼らの立場になって理解しようと努めている

（問 6）、仕事に対して意欲的に取り組んでいる（問 7）、時間をきちんと守るなど、勤勉（真面目）である（問 18）が、全体平均値（3.27）を特に上回っていました。

②パソコンの操作技術が備わっている

（問 16）、保育者に必要な一般教養（義務教育程度の数学、英語、理科、社会の知識）がある（問 15）、特別な配慮の必要な家庭（虐待、貧困、等）への適切な



対応を理解している（問20）は、特に低い平均値を示していました。

③自由記述では、手遊び、乳児保育、特別支援教育、保護者対応について、より学習の必要性を感じる意見がありました。

本学科では、現代の保育におけるニーズに対応できる保育者を養成するべく、2019年度入学生から、カリキュラムの改定を行い、多くの方が課題として感じている特別支援教育、乳児保育等の科目数を増やして教育を行っているところです。

卒業生の皆さんのサポートについても、学科として何ができるか検討していく予定です。

皆さまから頂いた貴重なご意見を元に、本学科の教育がより充実したものとなるよう、授業改善に取り組んで参りたいと存じます。

参考 質問項目	
問1	保育・教育の本質や原理を理解している。
問2	乳幼児の心身の発達を理解し、適切な対応ができる。
問3	乳幼児の健康・安全に関する知識があり、適切な対応ができる。
問4	乳幼児の観察力に優れていて、状況にあった対応ができる。
問5	乳幼児にふさわしい生活・遊び・活動を理解し、指導計画を立てたり適切に環境構成することができる。
問6	乳幼児が話すことを、彼らの立場になって理解しようと努めている。
問7	仕事に対して意欲的に取り組んでいる。
問8	保育者に必要なピアノなど楽器の演奏技能が備わっている。
問9	歌や音楽遊びの指導ができる。
問10	描画や工作の指導ができる。
問11	運動の指導ができる。
問12	日常の挨拶ができて、礼儀正しい。
問13	教職員間で協力して働くことができる(報告、連絡、相談、質問、返答)。
問14	日本語能力(日誌、連絡帳、保護者への連絡文などを正しく書く能力)がある。
問15	保育者に必要な一般教養(義務教育程度の数学、英語、理科、社会の知識)がある。
問16	パソコンの操作技術が備わっている。
問17	保護者・家庭への対応が適切である。
問18	時間をきちんと守るなど、勤勉(真面目)である。
問19	特別な支援の必要な乳幼児(障がい、外国籍、等)への適切な対応を理解している。
問20	特別な配慮の必要な家庭(虐待、貧困、等)への適切な対応を理解している。
問21	自らの知識や技能を高めようと努力している。
問22	今の職場に就職してよかったと思っている。
問23	常磐短期大学で学ぶことができよかったと思っている。